

スキー場運営大手のマックアース（兵庫県養父市）は、地域子会社を通じて運営するスキー場「スノークルーズ・オーンズ」（小樽市）のゲレンデのナイター照明を全面的に発光ダイオード（LED）照明に変更した。照明の電気代を年間500万円程度抑えられるという。全国的にも珍しく、スキー場での省エネ先進事例として注目を集めそうだ。

## 小樽に省エネスキー場

### マックアース



十分な光量をLEDで確保した（小樽市のスノークルーズ・オーンズ）

ら1時間以内と近く、仕事帰りでも利用できる点（市）によると同社グループ売り上げに2016、17年シーズンに約12万人が来て、利用者数は増加傾向にあるが、ナイターが長い分、照明の電気代負担も相応に大きかった。運営会社のマックアース

## ナイター照明をLEDに

り電気代の低減効果は高いと考えた」と話す。今回は約100基の照明を約2000万円かけて交換、約4年で投資回収可能と見込む。LEDは長寿命で、以後は毎年電力業界に詳しいコンサルタント業、あかりみらい（札幌市）の越智文雄社長も「場内施設からゲレンデまで、照明を全面的にLED化するスキー場は全国的にも珍しい」と話す。ナイター照明のLED化が進まない一因には放射状に光を放つのに、LEDは直線的に照

北海道

札幌旭川 011-281-1228  
011-381-1228  
011-561-1228